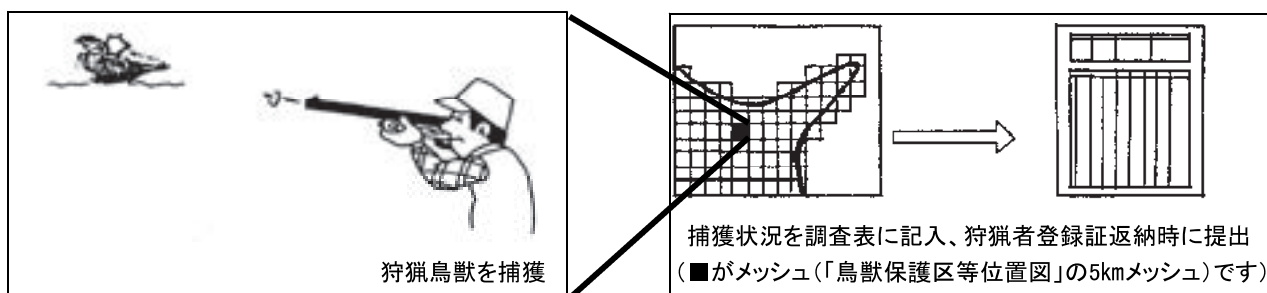


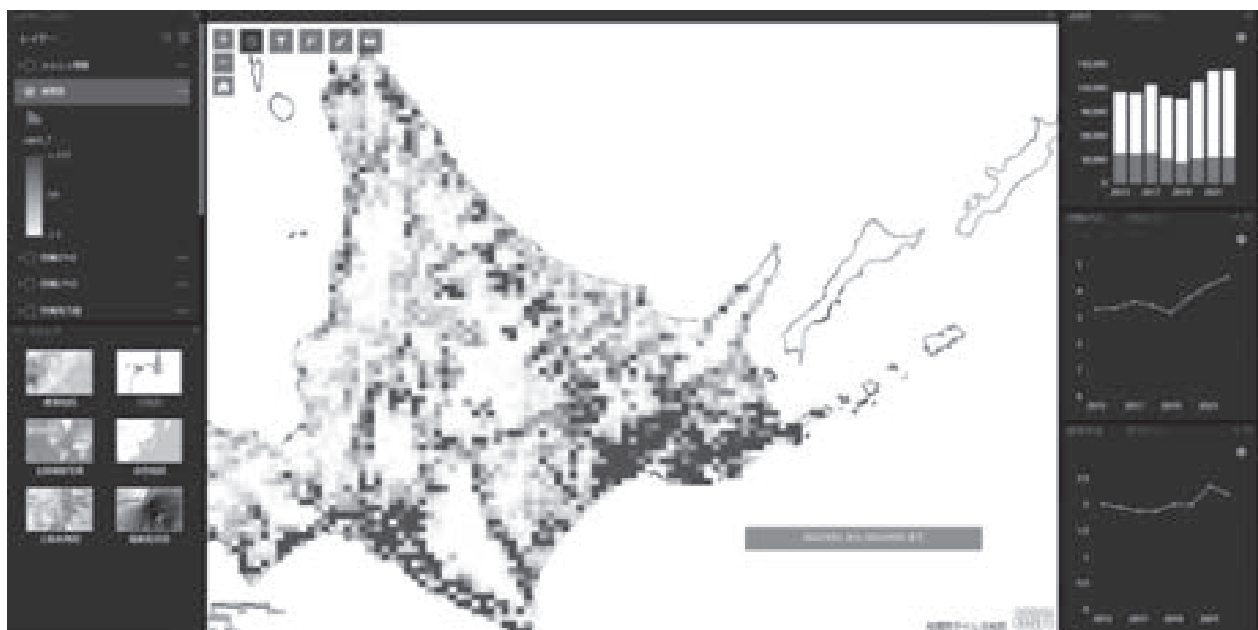
# 調査協力のお願い

ご提供いただきました捕獲情報は、統計的なデータ処理がなされ、狩猟鳥獣の適正な保護管理に活用されています。



調査結果の取りまとめ、図化

## エゾシカ現況マップ (捕獲数の表示例)



作成：(地独)北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所

右の二次元コード又は以下のURLからご覧いただくことが可能です。  
(<https://www.hro.or.jp/industrial/research/eeg/development/datamap/deermap.html>)



## エゾシカの捕獲報告について

エゾシカに係る狩猟の結果は、別添の狩猟報告の中の「捕獲報告(エゾシカ用)」でご報告ください。狩猟の動向を把握するため、目撃情報や捕獲に使用した猟具に係る情報も調べておりますので、ご協力願います。なお、エゾシカ猟に出かけた場合には、捕獲や目撃がない場合でも、記入をお願いします。(「出猟したのに、エゾシカとの出会いがなかった」というのも貴重な情報です。)

また、ヒグマの関連調査も行っていますので、出猟時に痕跡を発見した場合は記入をお願いします。

## 狩猟報告 記入上の注意

☆狩猟報告には、狩猟による捕獲に関してのみ記入してください。

有害鳥獣駆除など許可による捕獲については、別途報告をいただいておりますので、狩猟報告への記入は不要です。

☆表紙の「狩猟者登録証番号」、「氏名」、「住所」、「日中連絡のとれる電話番号」、「FAX番号」を忘れずに記入してください。

☆「出猟した地域」について（エゾシカ）

| 出猟<br>月日 | 出猟した地域 |        |   |   |   |
|----------|--------|--------|---|---|---|
|          | 市町村名   | メッシュ番号 |   |   |   |
| 11/ 1    | 浦幌町    | セ      | 5 | 6 | 3 |
| 11/ 1    | 白糠町    | セ      | 5 | 6 | 3 |
| 11/ 1    | 白糠町    | セ      | 5 | 6 | 4 |

同じ日付、同じメッシュ番号でも市町村が異なる場合は、行を分けて記入してください。

同じ日付、同じ市町村でもメッシュ番号が異なる場合は、行を分けて記入してください。

※メッシュ番号は、カタカナ 1文字 + 数字 3桁です。  
鳥獣保護区等位置図（地図編）から転記してください。

☆「捕獲場所」について（エゾシカ）

| 出猟<br>月日 | 出猟した地域 |        |   |   | 捕獲<br>場所         |            |
|----------|--------|--------|---|---|------------------|------------|
|          | 市町村名   | メッシュ番号 |   |   | 道有林<br>国有林<br>の別 |            |
| 11/ 1    | 浦幌町    | セ      | 4 | 5 | 2                | 道有林<br>国有林 |
| 11/ 1    | 釧路市    | ソ      | 6 | 0 | 3                | 道有林<br>国有林 |
| 11/ 1    | 白糠町    | ソ      | 5 | 0 | 1                | 道有林<br>国有林 |

捕獲場所が道有林または国有林である場合は、いずれか該当する方に○を付けてください。

捕獲場所が道有林でも国有林でもない場合や捕獲がなく目撃のみの場合は、記入不要です。

☆「捕獲数」、「目撃数」について（エゾシカ）

| 捕獲数(性別) |    | 目撃数<br>(捕獲数<br>を含む) |
|---------|----|---------------------|
| オス      | メス |                     |
| 1       | 0  | 2                   |

○（マル）やし点ではなく、数字で記入してください。

目撃数には捕獲数も含まれます。捕獲がある場合、

目撃数には必ず捕獲数以上の数字が記入されることとなります。

☆ヒグマ関連項目について

| ヒグマ関連項目                            |                |
|------------------------------------|----------------|
| 発見報告                               | フン<br>発見<br>個数 |
| なし・ <u>フン</u> ・姿<br><u>足跡</u> ・その他 | 1              |

出猟時にヒグマの痕跡等を発見した場合は、発見した痕跡等に○（マル）をつけてください。

フンの発見個数は、○（マル）やし点ではなく、

数字で記入してください。

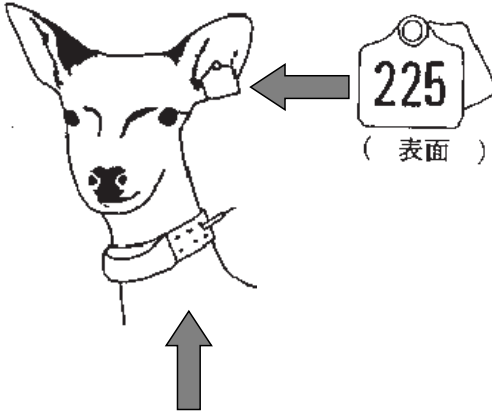
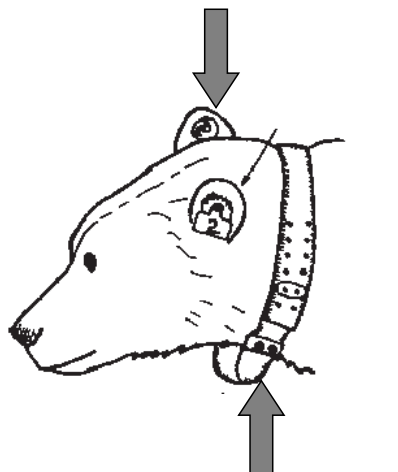
左表は「フンを1つ、足跡(個数は問わない)」場合の記載例です。

## エゾシカ・ヒグマ調査個体の情報提供について

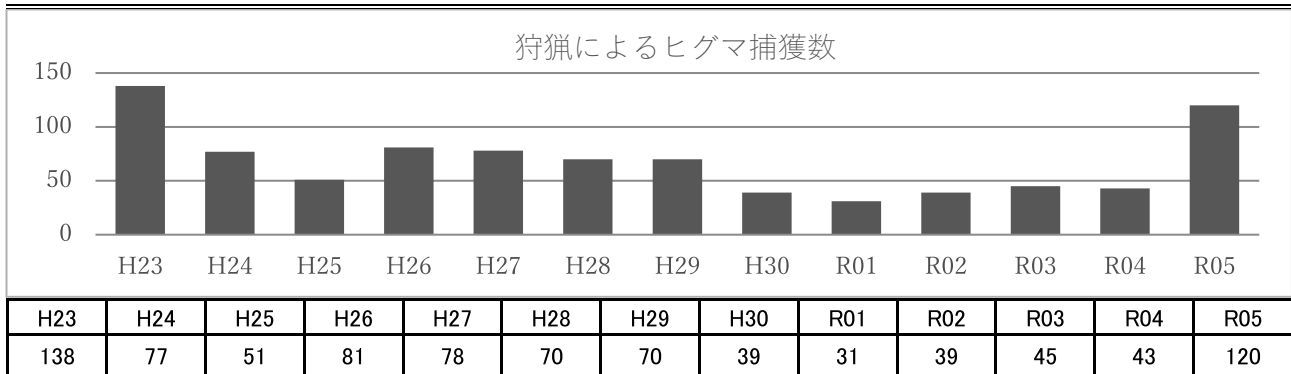
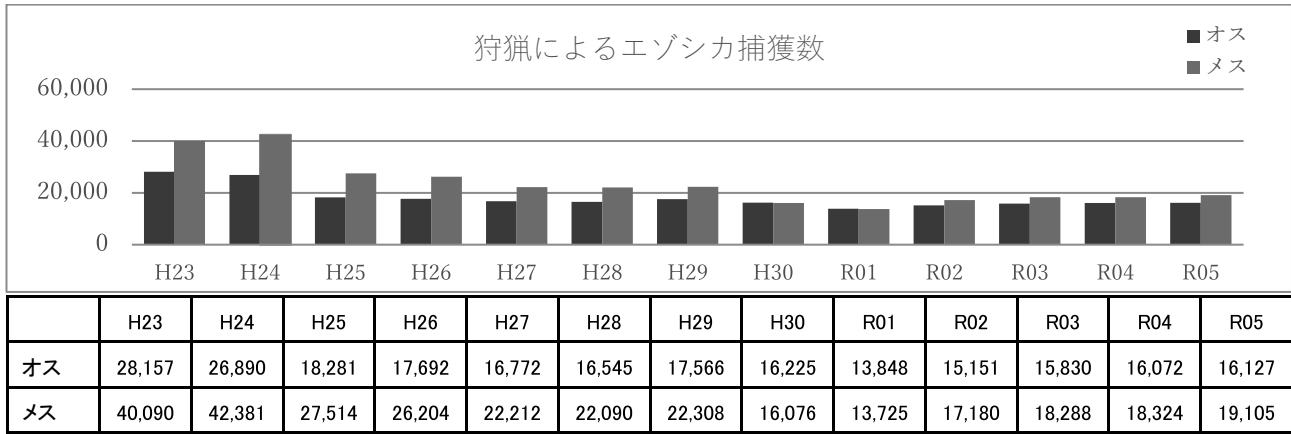
北海道内では、エゾシカやヒグマの生態に関する基礎的な情報を収集するため、様々な調査が実施されています。石狩・上川・宗谷・オホーツク・釧路・根室地方等では、生体捕獲した個体に首輪やイヤータグ（耳標）を装着しており、これらの個体が目撃や再捕獲された場合、その日時及び場所から移動や分布を知ることができます。そのため、目撃や捕獲の際には、下記の連絡先まで情報や試料等の提供をお願いいたします。

### <連絡先>

〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西12丁目  
 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部  
 エネルギー・環境・地質研究所 自然環境部  
 電話：011-747-3521（代表）

|      | エゾシカ  | ヒグマ  |
|------|---|--|
| 依頼内容 | <p>目撃の場合</p> <p>① 目撃者、目撃日時・場所の情報提供<br/>② 耳標の色・番号、首輪の色</p> <p>捕獲の場合</p> <p>① 捕獲者、捕獲日時・場所の情報提供<br/>② 首輪、耳標の回収及び提供</p>   | <p>目撃の場合</p> <p>① 目撃者、目撃日時・場所の情報提供<br/>② 耳標の色・番号、首輪の色</p> <p>捕獲の場合</p> <p>① 捕獲者、捕獲日時・場所の情報提供<br/>② 試料（歯・大腿骨・肝臓）、首輪、耳標の回収及び提供</p>   |
| 対象個体 | <p><b>耳標を装着しています</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック製</li> <li>・赤、青、黄色等</li> <li>・表面に番号が記入されています</li> </ul>  <p><b>首輪を装着しています</b></p> | <p><b>耳標を装着しています</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック製</li> <li>・赤、青、黄、緑色等</li> <li>・表面に番号が記入されています</li> </ul>  <p><b>首輪を装着しています</b></p> |

## 近年のエゾシカ、ヒグマ捕獲数



### アライグマ・キツネ・エゾライチョウの捕獲について

今猟期に、アライグマ、キツネ、エゾライチョウを捕獲した場合は、別添の「捕獲報告(アライグマ、キツネ・エゾライチョウ用)」により情報をご提供ください。どこでどのくらいの数が捕獲されているかなどを調べています。

### 狩猟及び有害鳥獣駆除活動中のヒグマ事故防止について

昭和37年度(1904年度)から令和7年度(2025年度)6月末までに発生した狩猟及び有害鳥獣駆除活動中のヒグマ事故は、事故全体の159件中の60件、38%にのぼり、一般人と比較すると、狩猟者はヒグマの被害に遭う確率がかなり高くなっています。ヒグマは全道に分布しており、シカ猟の際にヒグマと遭遇することも十分考えられますので、出猟の際は十分注意しましょう。

また、狩猟等で捕獲したエゾシカを狙って行動するヒグマが確認されています。捕獲したエゾシカに向かう際は、周囲にヒグマがいないか確認し、慎重に近づくとともに、捕獲個体の速やかな回収を心がけましょう。

### 標識鳥回収のお願い

渡り鳥の生態を調査するために、世界各国で鳥に脚環をつけて放しています。

これらの脚環を装着した鳥を回収したときは、回収した鳥類の種類、回収年月日、場所、回収状況等を最寄りの総合振興局又は振興局環境生活課にご連絡ください。なお、狩猟鳥は、脚環が装着されていても捕獲等することはできません。

### ガンカモ類の生息調査について

毎年、1月上旬～中旬に、ガン・カモ類の生息状況を把握するため、全国一斉調査を実施しています。調査日においては、次の対象鳥類の捕獲について自粛するようお願いいたします。なお、調査日については別途決定されますので、道のホームページもしくは最寄りの総合振興局又は振興局環境生活課にご確認ください。

(調査対象)

マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、クロガモ

また、ヨシガモ、ハシビロガモ及びクロガモは、調査の結果、依然として生息数が少ない状況にありますので、引き続き捕獲を自粛するようお願いいたします。